

学術会議シンポジウム

# ナノマテリアルの未来と課題

- 日時：平成20年12月26日（金） 9：40～17：00（受付9：00～）
- 会場：学術会議講堂
- 主催：学術会議薬学委員会生物薬学分科会
- 共催・協賛：薬学会、化学会、他

## ■プログラム

### <挨拶>

学術会議会長 金澤一郎

学術会議薬学委員会委員長 橋田 充

### <午前の講演>

「工学分野への応用—カーボンナノチューブの発見とその応用、夢の展開」

飯島澄男（産総研ナノカーボン研究センター）

「医薬分野への応用—ナノ物質のドラッグデリバリーシステムへの応用、夢の展開」

片岡一則（東京大学大学院工学系研究科）

「環境分野への応用—酸化チタンの光触媒作用の発見とその応用、夢の展開」

藤嶋 昭（神奈川科学アカデミー）

### <午後の講演>

「ナノマテリアルの生体反応とバイオ医用応用」

亘理文夫（北海道大学大学院歯学系研究科）

「ナノマテリアルの健康影響とその克服—次世代脳神経系を中心に」

武田 健・菅又昌雄（東京理科大学、栃木臨床病理研究所）

「ナノマテリアルの毒性予測—発がん性を中心に」

菅野 純（国立医薬品食品衛生研究所毒性部）

「社会受容に向けたナノ材料開発支援共通知識基盤構築」

山口由岐夫（東京大学大学院工学系研究科）

■オーガナイザー：西島正弘（生物薬学分科会）、阿多誠文（産総研）、  
山元 弘（生物薬学分科会20期委員長）、武田 健（生物薬学分科会）

■会場：学術会議講堂（地下鉄千代田線「乃木坂」5番出口1分）

■参加費：無料

■申込方法：シンポジウム開催告知ページ（<http://www.rs.noda.tus.ac.jp/nano/sympo/>）より12月15日（月）までにお申し込み下さい。

■事務局：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

■問合せ先：東京理科大学総合研究機構ナノ粒子健康科学研究センター

<E-mail> [nano@rs.noda.tus.ac.jp](mailto:nano@rs.noda.tus.ac.jp)

<URL> <http://www.rs.noda.tus.ac.jp/nano/>

学術講演会：「ナノマテリアルの未来と課題」の開催

1. 主 催 日本学術会議 薬学委員会 生物系薬学分科会
2. 共 催 日本薬学会、日本化学会
3. 日 時 平成20年12月26日（金）9：40～17：00
4. 場 所 日本学術会議 講堂  
（地下鉄千代田線「乃木坂」駅 5番出口徒歩1分）

5. 次 第

[開催趣旨]

ナノテクノロジーは21世紀においてあらゆる科学技術の基幹をなし、21世紀の産業革命を導くものとして期待されています。すでに、工業、環境、医薬、食品、化粧品などの分野でよりよい生活を実現するため、様々なナノマテリアルの開発・製造・応用が開始されています。しかし、多大な期待はあるものの、未解明の点も多く、とりわけナノマテリアルについては従来のバルクの材料とは異なる健康や環境影響が懸念されています。

ナノテクノロジーの研究開発が効率的に新しい技術の産業化を促進し、わが国の産業が国際競争力を維持し発展していくためには、ナノマテリアルの健康や環境への影響に関して科学者や事業者が協力して解明を進め、情報の共有化を図り、社会受容を促進していく必用があります。

工、医、歯、薬の研究者が連携して取り組む本シンポジウムを関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、ご参加いただきますようお願いいたします。

[プログラム]

<開会挨拶>

日本学術会議会長 金澤 一郎  
同 薬学委員会委員長 橋田 充

<午前の講演>

- (1) 「工学分野への応用—カーボンナノチューブの発見とその応用、夢の展開」  
飯島 澄男（産総研ナノカーボン研究センター）
- (2) 「医薬分野への応用—ナノ物質のドラッグデリバリーシステムへの応用、夢の展開」  
片岡 一則（東京大学大学院工学系研究科）
- (3) 「環境分野への応用—酸化チタンの光触媒作用の発見とその応用、夢の展開」  
藤嶋 昭（神奈川科学アカデミー）

<午後の講演>

- (1) 「ナノマテリアルの生体反応とバイオ医用応用」

- 亙理 文夫 (北海道大学大学院歯学系研究科)
- (2) 「ナノマテリアルの健康影響とその克服—次世代脳神経系を中心に」  
武田 健・菅又昌雄 (東京理科大学、栃木臨床病理研究所)
- (3) 「ナノマテリアルの毒性予測—発がん性を中心に」  
菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

休 憩

- (4) 「社会受容に向けたナノ材料開発支援共通知識基盤構築」  
山口由岐夫 (東京大学大学院工学系研究科)

まとめ

西島 正弘 (日本学術会議生物薬学分科会委員、シンポジウム実行委員)

<閉会挨拶>

山元 弘 (第20期日本学術会議 生物薬学分科会委員長)

## 6 申込方法

シンポジウム開催告知ページ (<http://www.rs.noda.tus.ac.jp/nano/sympo/>) より  
12月15日(月)までにお申し込み下さい。

\*誠に恐れ入りますが、定員になり次第締め切らせて頂きます。

また、参加費は無料です。

## 7 問合せ先

東京理科大学総合研究機構ナノ粒子健康科学研究センター

<E-mail> [nano@rs.noda.tus.ac.jp](mailto:nano@rs.noda.tus.ac.jp)

<URL> <http://www.rs.noda.tus.ac.jp/nano/>